

# 琉球大学教授職員会ニュース第 135号

2012年2月20日 人事院勧告, 学長表敬, 退職パーティー

琉球大学教授職員会 <http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

会長: 高良 鉄美 (法科大学院), 副会長: 新城 竜一 (理学部)

事務局: 中城口信号角 内線 2023 E-mail [kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp)

## 大幅な給与引き下げに反対します

会員の皆様、年度末を迎え卒論指導などで慌ただしい日々をお過ごしと思います。桜の見頃も終え、巷はプロ野球のキャンプインで活気づいています。ただし、インフルエンザが流行しているため、健康には一層の気を配り、この年度末を乗り切りましょう。今年は給与に関わる重要な案件が出てきます。情勢を把握し、教授職員会としてどのような取組みが必要で効果的か考える必要があります。会員の皆さんからの意見が必要ですので、よろしくお願ひします。

## 国家公務員給与削減で民主・自民・公明合意

民主・自民・公明の3党の政調会長は17日、国家公務員給与の削減をめぐり、平均0.23%の引き下げを政府に求めた2011年度人事院勧告(人勧)を、昨年4月に遡って実施した上で、2012～13年度は人勧実施分を含め平均7.8%引き下げることで正式に合意しました。

また、政府は「行政改革実行本部」の設置を決定し、1月31日に初会合を開いています。改革案では政府全体の総人件費を抑える方策を明記し、行革実行本部がすべての省庁を対象に年度ごとに「総人件費管理計画」をつくり、総人件費の上限を決めるようです。これに沿って各省庁は採用や昇格を抑制し、超過勤務手当や広域異動手当、本府省業務調整手当といった諸手当も減らしていく方針となっています。

琉球大学教職員は公務員ではありませんが、これに準ずるものであり、国家公務員の人件費削減に呼応した対応(具体的には**運営費交付金の人件費分の削減**)がなされる可能性があります。教授職員会執行部としては、**遡及を含む給与削減は絶対に認めず前年度並みの賃金を確定することを目指し、また非常勤や任期制教職員などの弱い立場の組合員へしわ寄せがいかないよう団体交渉**していきます。国家公務員給与臨時特例法案が成立した場合でも、国立大学の教職員給与へ反映を強制させることには断固反対の姿勢で臨みます。

一方で、大学への**運営費交付金の削減は続いており**(12年度も復興特別会計分を除くと前年度比161億円減、2008年度比447億円減)、**大学は疲弊しきっているのは誰の目にも明らかです**。これ以上の人件費削減は大学の崩壊へつながるものであり、強い意志で反対していきましょう。

## 今年も、退職記念パーティーを開催します

教授職員会退職記念パーティーにご参加ください。今年は約20名の教員の方々が琉大を定年退職あるいは離職されます。詳細はおってお知らせします。日程をやり繰りしてお越し下さい。

**3月1日(木) 午後6:00～ 琉大50周年記念館2階多目的交流ラウンジ\***

**会費: 会員3千円, 非会員4千円(当日会場にて)** \*西原口交差点角の山上の建物

裏面も…学長表敬報告, 就業規則改正の交渉, 役員名簿など…お読み下さい

## 【報告】学長表敬を行いました

教授職員会執行部は、2月7日(火)に学長表敬を行いました。ご多忙の中、学長には新執行部との懇談に時間を割いていただき感謝します。懇談での**学長のコメント要約は、以下のとおり**です。最後に教授職員会退職記念パーティーへの参加も要請しました。

**国家公務員給与削減の問題**：「国大協と歩調を合わせて対処していきたい。大学はもうギリギリの状況にあり、削減にはもちろん反対である。大学は会社等とは異なり、短期的な収益にウェイトを置くような性質のものではないことを理解してもらう必要がある。また、以前と異なり、去年からは運営費交付金は2ヶ月あるいは1ヶ月単位でくるので、人件費分が減らされて配分される可能性が高い。この場合には、物件費等を縮小して人件費に充てるなど、できるだけ給与を下げない方策を模索中である。ただし、政府は2年間といっているが、それで済むのか心配である。消費税増税も頭が痛い問題で、共同購入等の工夫を考える必要がある。消費増税となると授業料免除申請も増えるであろう。授業料免除については、今年は約1億円の補助がもらえた(去年は5千万円)ので、今後は増額できるように交渉したい。

各大学は特徴を出せといわれている。琉球大学の特色は地理的な特性にあり、アジア太平洋域に目を向ければ広大な領域を視野に入れられる。この強みを生かして、アジアの架け橋となる「知の拠点」を見据えて琉大の発展を考えるべきだ。」

**学内状況**：「仕事柄、職員や学生の健康状態やメンタルヘルスについて強い関心があり、保健管理センターや産業医の機能強化についても何とかしたい。」

**モノレールの琉大までの延長**：「西原インターまで延長が決まったモノレールについては、琉大までの延長には大いに賛成であり、実際に琉大までの延長について過去に申し入れを行った経緯もある。継続して延伸の働きかけを行いたい。」

---

---

## 平成 24 年度就業規則等の改正に伴う労使交渉

課長登用者等の定年退職後の琉大での再雇用に関わる「一般職員再雇用規程の一部改正」や、H24年度の過半数代表者との協定が必要なものには、1)時間外労働及び休日労働に関する労使協定書・協定届、2)4週間単位の変形労働時間制に関する協定書・協定届、3)1か月単位の変形労働時間制に関する協定書・協定届、4)1年単位の変形労働時間制に関する協定書・協定届(附属小・中)、4)再雇用者の選考基準等に関する協定書があります。1)から4)は基本的に昨年度と同じ内容です。

これらについては本交渉(2月17日)のあと過半数代表者を選出し、3月20日前後に投票を予定していますので、組合員のご協力をお願い致します。

**2011年度役員・代議員名簿** 前号の代議員名簿に追加訂正があります。当該ブロックの組合員各位にはご迷惑をおかけしました。お詫びして今号に掲載致します。

医学部ブロック：泉水 奏

◎ お困りのことやご意見・ご要望など、何でもお気軽にお近くの役員・代議員にお話しになって下さい。

- ・年会費の口座引き落としを行いました。ご協力ありがとうございます。自動引落でない方は、お手数ですが代議員に預けていただくか、振込(口座番号等はいつでもご照会下さい)願います。
- ・琉大の教育研究環境や労働条件を改善するため、非会員の方はぜひ教授職員会にご加入下さい!